

(再評価)

資料2-5(1)

確認結果

河川事業

再評価原案準備書説明資料(案)

しりべしとしか

後志利別川直轄河川改修事業

令和3年度
北海道開発局

◇後志利別川直轄河川改修事業の総便益

⑤便益(洪水被害) 624億円 --治水経済調査マニュアル(案)より算出、現在価値化

⑥便益(残存価値) 3億円 --治水経済調査マニュアル(案)より算出、現在価値化

⑦総便益【B】 627億円(現在価値化) --⑦=⑤+⑥

確認後: 469

事業全体

◆費用便益費(B/C) 627億円/157億円=4.0

◆純現在価値(B-C) 627億円-157億円=470億円

◆経済的内部収益率(EIRR) 18.4%

※算出条件 整備期間:平成19年度~令和8年度(20年間) 評価対象期間:平成19年度~令和58年度(整備期間+50年間)

残事業

◆費用便益費(B/C) 90億円/25億円=3.6

※算出条件 整備期間:令和4年度~令和8年度(5年間) 評価対象期間:令和4年度~令和58年度(整備期間+50年間)

当面整備

◆費用便益費(B/C) 90億円/25億円=3.6

※算出条件 整備期間:令和4年度~令和8年度(5年間) 評価対象期間:令和4年度~令和58年度(整備期間+50年間)

感度分析

◆事業費 (+10%~-10%)

◆工期 (+10%~-10%)

◆資産 (-10%~+10%)

残事業のB/C

(3.3~4.0)

(3.6~3.6)

(3.3~4.0)

事業全体のB/C

(3.9~4.0)

(4.0~4.0)

(3.6~4.4)

※B/C算定に用いている総費用及び総便益については、消費税相当額を控除しています。